

- 家事場のパパデカラに思うコト
- 男女共修の家庭科、20年経って
- 女性の社会進出に期待される児童クラブ
- 富岡製糸場 世界遺産へ 絹産業の技術革新と発展へ貢献した工女たち
- 「婚活」時代
- 編集後記
- インフォメーション

家事場の  
パパデカラ

平成26年度  
男女共同参画週間  
6/23日 - 29日

男女共同参画推進本部  
〒410-0001 藤沢市大磯 男女共同参画推進センター1階  
<http://www.gndc.go.jp/>

男女共同参画推進 Facebook  
<https://www.facebook.com/csr.jtydsannatu>



男女共同参画週間パネル展示  
市役所新館1階ロビーにて



# 地球

藤 沢 市

# 家事場のパパチカラに思うこと

子どもの頃大好きだった絵本の一頁に、家族で夕食を囲む場面がありました。テーブルについて食事を待っているのは小さな女の子とかわいらしいお母さん。そばで立ち働いているのはお父さんです。

挿絵のお父さんは、髪が長めで口ひげをはやし洒落た雰囲気だったので、芸術家、とかだったのでしょうか。子ども心に、お父さんがお夕飯の支度をするんだと驚いたことを憶えています。

通勤ついでのごみ出しどころか、休日の掃除や夕食の後片付けなど、家事をすることに抵抗を感じずに手



を貸してくれる男性は最近ではめずらしい存在ではありません。お弁当を作ったり食事の準備をしたりするお父さんのための特集記事など、雑誌や新聞でもよく目にするようになりました。

有給無給に関わらず、様々な職場でママチカラを駆使する女性を支えるために(もしくはそうしたいと考えている女性のために)男性も家事をしようというのは、女性にとって現実的にとてもありがたいことであり、暮らしの潤滑油としてもその効果は計り知れません。そして何よりお父さんが家事をする姿をあたりまえに見て育つ子ども達の将来に、どれほど素晴らしい影響を及ぼすことでしょうか。

けれどふと考えます。家事っていったい何だろう。家事場ってどんな場面だろう……。家事は毎日のことだから、時間の区切りも場所の境目もないものだからみんなで分担してお母さんの負担を軽くしよう、家事場に縛られるお母さんを少しでも解放しよう、というだけのことだとしたら、せっかくのパパチカラ、チカラの持ち腐れになりはしないでしょうか。

“家事場”こそ、連綿と受け継がれ、その都度工夫の凝らされてきた生活そのものであるといえます。そこ

で、生きる力の源を日々確かに生み出しているのですから。

お父さんと言わずお母さんと言わず、誰もが一緒になって生活を紡いでいくことで世代から世代へのバトンをもつないでいくのかもしれませんが。誰かが毎日変わらずにしてくれていたことを、今度は自分が誰かを思い、誰かの生活を支えるために。繰り返される毎日の営みはくじけそうになる日もあるけれど、いつも通りではない時にもいつも通りの力を生みそれが励ましとなってくれます。

家事場のパパチカラは、今なお強さや頼もしさを求められがちな男性の生き方を見直すのにもよいきっかけとなるに違いありません。ひいては職場のママチカラにもつながり、男女共同参画社会を身近なところから推し進める、確かな力と成り得るものだと思うのです。

(鈴木 記)

## 男女共修の家庭科、20年経って

高校家庭科が男女共修になって、今年でちょうど20年。その世代は35歳になる。結婚して子育て中だとしたら、パパは今どきのイクメンかもしれない。

中学校の技術・家庭が共修になったのは、高校の前年の1993年。21年目の「家庭科」は現在、どんな様子なのだろう。

藤沢市内の中学の技術科教師である飛矢崎隆先生は、この3月までの5年間、前任校で家庭科を教えた。いまの生徒たちは男子が家庭科を学ぶことはもちろん、男性教師が教えることにもあまり違和感がないという。「調理実習でも意外と男子がうまかったりするんですよ。むしろ男子の方が家事や手伝いをよくしているように感じました。逆に技術では木工など女子が丁寧に仕上げたりしますし、教えていて男女差を大きく感じたことはないですね」と話す。

家庭科で悩むのは、実習の時間の確保だそうだ。調

理実習などは2時間続きで、作る・食べる・片づけまでをやりたいところだが、今や家庭科は週1時間。(中3は0.5時間)他の教科と調整するのもなかなか難しい。4時間目と昼食、昼休みの時間を使って、例えばフライパンだけで作れるようなメニューにするなど苦心している。

実際の生活とのギャップもある。被服製作では家には持って帰らせず、学校だけでやるようにしている。生徒に聞いてみると、服は買うという家庭がほとんど。家にミシンがあるという生徒は少ない。市販の雑巾を学校に持ってくるような時代。学んでいることがどれだけ実生活に合っているか、役立つのか、疑問に思うこともあるという。

2009年の学習指導要領から、子どもと接する機会を持つことが保育の学習として必修となった。赤ちゃんや小さい子に接する機会が少ない現代、必要な実習なのはわかる。だが、短い授業時間の中で、保育園などに行



くことも、1クラス分の生徒を受け入れてもらうのも実際はとても大変だし、安全上の問題もあるそうだ。

「どの実習も円滑に進むには、生徒との日頃のコミュニケーションが欠かせない」という。市内中学の正規の家庭科教師は6人。ほとんどの学校は講師が担う。共修があたりまえになった今、家庭科は新たな課題に直面しているように感じた。

(有田 記)



# 女性の社会進出に 期待される

## 児童クラブ



藤沢市の小学生の数は、約23,000人、このうち1割強が児童クラブに通っている。保護者が就労等により昼間家庭にいない児童が利用しており、女性の社会進出に一役買っている。

### 児童クラブの概要

藤沢市には「放課後児童健全育成事業」という事業がある。これに基づいて、仕事と子育ての両立を支援するために、児童クラブが運営されている。藤沢市には、35の小学校があり、45の児童クラブが設置されている。

このうち、42の児童クラブを公益財団法人藤沢市みらい創造財団が運営しており、2014年(平成26年)度は、2,505人の児童が入所している。前身の法人が運営するようになった1995年(平成7年)度には、762人だった入所児童数は、10年前の2004年(平成16年)度には1,691人となり、その後も年々増え続けている。現在、藤沢市では1年生から4年生までが対象となり、5、6年生は、施設の余裕をみて入所できるが、来年度からは、国の新たな子ども子育て支援制度により6年生までが対象となる予定だという。一層利用者が増えそうだ。

一番古い「どろんこ児童クラブ」の場合、38年前に、本鵜沼市民の家ができ、その中で運営されてきた。鵜沼小と鵜沼小から40人ほど



の児童が通って来ていた。その後、鵜沼小に隣接して、鵜沼児童館ができ、その中に移った。また「はすいけ児童クラブ」もできた。鵜沼小の児童クラブは、分離し「ぼてんこ児童クラブ」となった。今年度の入所児童は、合わせて200人を超えている。

### 充実する事業の中身

公益財団法人藤沢市みらい創造財団の児童クラブの施設は、いろいろだが、法人化する前から使用している民間の借家というような施設もあり、老朽化、狭隘化などに対して、改善、改築が計画的に行われている。

指導員は、常勤指導員のクラブ長と複数の非常勤指導員が配置されている。指導員研修により、レベル・アップを図り、42の児童クラブの質が同じになるように工夫されている。

開所時間は、通常授業の時は、12時30分から18時までであるが、登録しておけば、19時まで延長できる。夏休みなどの時は、8時から開所している。

入所料は、学年によって異なるが、一番高い1、2年生で月額14,500円で、他におやつ代が2,000円かかる。

### 児童クラブでの生活

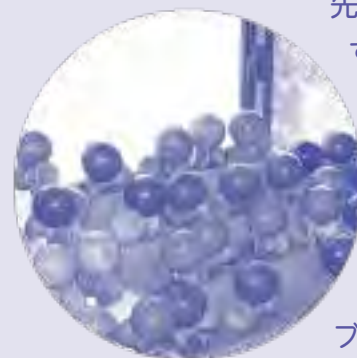
授業を終えて、やってきた児童は、自由活動や集団遊びをしたり、おやつを食べたりする。習い事な

どに通うこともできる。

児童クラブでは、異年齢集団という特性を生かし、遊びや工作等の創造活動、おやつ作りなどを通して生活技術を会得できるようにしている。

夏休みには、保護者の協力を得て、キャンプの実施やプールなどもある。

クラブまつりなども行われている。また、財団としての全市的な交流会(運動会)なども行われている。



先日訪ねた村岡小に隣接する「コロリン児童クラブ」では、中に入ると、ランドセルを置く棚があり、また、ケン玉がたくさん並んでいた。「コロリン児童クラブ」では、ケン玉の指導に力を入れているようだ。遊び

は、クラブによっていくらか特色があり、伝承遊びの楽しさを知ることなども児童クラブの活動の一環として行われている。

児童クラブは「地域の子どもは地域で見守り育てる」ということで、地域の自治会長(町内会長)、民生委員、青少年指導員、学校長、保護者等で構成された運営委員会が組織されている。



このようにして、児童クラブは、女性の社会進出に、なくてはならないものになっており、今後も利用が増えることが期待されている。

(大山 記)

# 富岡製糸場 世界遺産へ

絹産業の技術革新と発展へ貢献した工女たち

富岡製糸場が、世界遺産に正式登録される見通しとなった。明治5(1872)年10月4日、群馬県富岡市に、操業を開始した官営模範工場である。器械製糸工場としては、当時世界最大級の規模をもっていた。

江戸時代末期、開国直後、文久2(1862)年には、日本の輸出品の86%を生糸と蚕種が占めるまでになった。

しかし、その結果、粗製乱造を招き、価格の安定化と品質を取り戻す必要があり、器械製糸工場の建設が求められていた。明治政府は器械導入を奨励し、日本初といわれるイタリア式製糸器械の前橋藩をはじめ、いくつかの製糸工場もできた。

伊藤博文と渋沢栄一はフランスの生糸検査員だったブリューナに依頼、バステイアンの設計で明治3(1870)年建設計画が始まった。

富岡製糸場は、規模の大きさもさることながら、湿度の高い日本の気候を考慮して、ヨーロッパの器械を改良したものを特注していた。

建設が始まると同時に、明治5(1872)年工女募集が始まった。当初は人出不足に悩まされたが、技術の習得の重大性を強調し、開場にこぎつけた。

工女たちの労働環境は、当時としては先進的な7曜制を導入し、日曜は休み、年末年始、夏季10日の休暇、1日8時間労働と、現在の状況ともほぼ変わらない条件だった。全国から人材が集まり、工場内に寮を設置し、食費、寮費、医療費も製糸場持ちだった。

明治10(1877)年には、群馬県の教育熱心な方針もいかされ、工場内に変則的な小学校である工女余暇学校の制度も創造された。その思いは、民営化後も



生かされ、時代とともに形は変化したが、片倉時代には構内に寄宿舎入寮者は無料で学べる片倉富岡学園も設置された。

その後、外国人の契約満了に伴い、その高額な給与がなくなることもあって、次第に赤字に転じた。

器械製糸の普及と技術者の育成という目的が果たされ、その後、明治26(1893)年以降官営から、徐々に民営に移り、三井、原、片倉と何度か経営者も変わったが、昭和62(1987)年の閉業に至るまでの間も当初の方針は長く受け継がれた。

そこで働いた「富岡日記」を記して有名な和田英など、幾人かの優秀な工女たちは、後に、その技術を持って郷里に帰り、製糸技術の普及におおいに貢献したのだ。

富岡製糸場は、平成17(2005)年、国の史跡に指定、翌平成18(2006)年には明治8(1875)年以前の建物は重要文化財に指定されている。

(甘粕 記)

## 「婚活」時代



『パラサイトシングルの時代』などの著者であり中央大学文学部教授の社会学者山田昌弘氏と数多くの雑誌に少子化について女性ならではの切り口で記事を書いているジャーナリスト白河桃子氏による共著。

そもそも「婚活」という言葉は、白河氏が山田氏を取材した2007年11月に初めて使われた

そう。少子化対策の施策について様々な対策が取られ実施されているが、それらは結婚したカップルを対象にした対策(保育所整備・育児休業導入・児童手当等)である。少子化の直接の原因が未婚化、つまり結婚する人の減少である事に着目することこそが必要だと著者の山田氏は述べている。

白河氏は、現代は普通の人々が結婚したいのに結婚できない時代と言う。その分岐点は、1975年、この年を境に結婚年齢

がバラつき始めると山田氏は述べる。ライフスタイルの多様化、女性の社会進出等の流れによってこの傾向はさらに大きくなっていく。本書で、結婚は「婚活」をしなければできない理由がとても詳しく分析されている。まさに現代日本は、結婚しづらい時代。表紙の帯に書かれている「今の若者の4人に1人は結婚できない?!」は、衝撃的だ。

確かに結婚を就職となぞらえて「就活」に対して「婚活」とはうまく表現したものだと思うが、同時に「婚活」という言葉にいささか違和感を感じるのはなぜだろう。今がまさに男が稼ぎ、女が家庭を守るというような古い結婚観から、男女が平等に働いて平等に家事、育児を分担するワークライフバランスが取れた結婚観への過渡期には違いない。「婚活」という言葉が独り歩きしてさらなるマニュアル化が進み、結婚しようとする人が自信を失ったり、自分を見失ったり、熾烈な競争、結婚格差にならないことを願うばかりだ。

(川辺 記)

編集後記

ピオラなど堇類の花をたくさん植えたら「ゴマダラヒョウモン」という綺麗な蝶が現れた。初めて見て感動した。(大山)  
気温が25度を超える夏日が最近では昔より早く、日数も多いそうだ。連休がすんで、いよいよ本格的な暑さかな。苦手なんだけど。(甘粕)  
何とかここまでこぎ着けました新人です。ママデカラの新たな一歩、よろしく願いいたします!(鈴木)  
趣きのあった市役所本館。ドキドキしつつ議場や議員室、市長室を訪ねたことも。なくなるのが少し寂しい。(有田)  
梅雨の合間、洗濯の手を止めると、ふと夏の気配を感じた。初めて片瀬の海に連れて来てもらった夏を思い出す。(川辺)



# インフォメーション

## 審議会等の女性登用状況について

男女共同参画社会の実現には、政策・方針決定過程への女性の参画の拡大が重要です。  
「ふじさわ男女共同参画プラン2020」では、「審議会など、市政に対する女性の参画促進」に取り組むべき事業として定めています。(事業番号19)  
今年度の調査結果は、次のとおりです。

### 調査結果

#### 1 国へ報告する審議会等の女性登用比率

- ① 目標登用比率 **30.0%** (平成27年まで)  
(第3次男女共同参画基本計画 成果目標)
- ② 平成26年4月1日現在の女性登用比率
  - ・ 審議会等の対象数 56機関 (平成25年54機関) ※1を対象
  - ・ 女性登用比率 **30.7%** ※平成25年(29.6%)比 +1.1ポイント

#### 2 市独自の分類における女性登用比率

- ① 目標登用比率「めざそう値」として **42.0%** (平成28年度まで)  
(ふじさわ男女共同参画プラン2020 成果指標)
- ② 平成26年4月1日現在の女性登用比率
  - ・ 審議会等の対象数 240機関 (平成25年235機関) ※2を対象
  - ・ 女性登用比率 **41.0%** ※平成25年(40.7%)比 +0.3ポイント

#### 3 調査対象

- ① 地方自治法による行政委員会等  
(地方自治法第180条の5)
- ② 法律を根拠として設置する附属機関  
(地方自治法第201条の3) ※1
- ③ 条例により設置される附属機関  
(地方自治法第138条の4第3項) ※2
- ④ 要綱、要領等による協議会等
- ⑤ 上記に該当しない、会議・団体、  
任意の会議、実行委員会等



“藤沢で愛されて、もうすぐ50年”

**フジサワ名店ビル**

営業時間:10時~21時 ☎0120-111-391 〒251-0055 藤沢市南藤沢2番1-1号  
www.fujisawa-meiten.com

かがやけ地球は、市民の編集員さんの  
企画・運営によって、年4回発行しています。

編集スタッフ 川辺 裕子・大山 賢一・甘粕 保子・  
有田 留美子・鈴木 悠子

ご意見・ご感想・今後扱って欲しいテーマなどをお待ちしております!

FAX 0466-24-5928  
E-mail jinkendanjyo@city.fujisawa.kanagawa.jp

藤沢・茅ヶ崎・寒川 “湘南”がエリアのFM放送局

**83.1MHz** RADIO SHONAN FM 83.1MHz

**レディオ湘南**

<http://www.radioshonan.co.jp>

STUDIO FAX No.0466-29-2121

**古書・アウトレット本 買取と販売**

ご不要なもの、お売りください。※一部、買取れない品もあります。  
買取 (買取品目)書籍・CD・DVD・ゲームソフトなど  
お売りいただく際は身分証明書のご提示をお願いいたします。

お買得 稀少 アウトレット本と古書の販売 (詳しくは、下記ホームページで)

発売後、読者の手に渡らず出版社に在庫されていた未読の本(アウトレット本)を  
旧定価の20~80%OFFで販売します。他に珍品や稀少本など古書も扱っています。

藤沢駅(南口)前・有隣堂藤沢店5階  
**リブックス藤沢店** (ReBOOKS) 有隣堂

☎0466 26 1411(有隣堂藤沢店代表番号) ●ホームページ <http://www.yurindo.co.jp/>

ART INAMOTO co.,ltd.

女性スタッフを中心に細心・斬新・良質なクリエイティブワークを。

Graphic Design・Advertisement・Sales Promotion・Website

グラフィックデザイン  
有限会社 **アート稲元** [www.art-inamoto.co.jp](http://www.art-inamoto.co.jp)  
〒251-0002 藤沢市大鋸 1-9-3 Tel.0466-25-4019

**藤沢商工会館ミナパーク**

会議室・多目的ホールのご利用を受付けています!

藤沢商工会議所は藤沢商工会館(愛称:ミナパーク)に平成26年4月より移転いたしました。  
藤沢商工会館は本市産業振興のシンボルとして、施設として、そして新たな交流を創出する  
多くの商工業者や市民の皆さんに有効にご利用いただき誰もが気軽に立ち寄れる会館を目指しています。

〒251-0052 藤沢市藤沢607-1  
TEL.0466-27-8888 FAX.0466-27-8664  
URL <http://www.fujisawa-cci.or.jp>  
E-mail info@fujisawa-cci.or.jp

**藤沢商工会議所**